



もしものときの 合言葉 「^う浮^まいて待て」

●水難防止訓練「着衣水泳」 — あわてずに ういて まて —

夏到来。家族で海や川に行く機会が多い季節です。毎年この時期になると、水の事故が報道されます。中牟田小では、本年度から「着衣水泳」の授業を実施しています。「着衣水泳」は、「衣服を着たまま上手に泳ぐこと」が目的ではありません。衣服を着用した状態で川や海に転落したとき、水を吸った服は重くなり、手足を思うように動かすことができなくなります。普段、泳ぎが得意だと思っている人でも、着衣のままだと思ってしまうように泳げなくなります。「着衣水泳」は、着衣のまま水に落ちた時、どうすれば命を守ることができるかを学び、「いざ」というときに生かせるようになることです。

では、着衣のまま水に落ちた場合どうすればよいか。一番大事なことは、「あわてずに、浮いて、待つ」ということです。そのためには、上向きに寝た状態で呼吸を確保しながら浮く「ラッコ浮き」ができることです。子どもたちは、服に空気を入れたり、近くにあるビニル袋やペットボトルなどを使ったりして「浮いて待つ」練習をしました。



消費者庁 HP：子供の事故防止に関する関係府省庁連絡会議資料より引用



辰崎主幹による模範



着衣の状態で仰向けに浮く練習



ビニル袋を利用して浮く練習

●見かけた人は「声かけ、浮くものを投げて、救助を呼ぶ」

水に落ちた人を見かけたらどうしたらよでしょうか。

- 声をかけながら近くにある浮きそうな物を投げ入れる。
→カバン、バック、ランドセル、ペットボトル、傘など
- 大声で助けを求める（携帯電話がある場合は、119番へ通報）。

※決して自分が飛び込んで助けようとしてはいけません。

★★お知らせ★★

既にお知らせしておりますとおり、熱中症予防のため8月6日の全校出校日を中止しました。例年、全校で「平和学習」に取り組んでおりましたが、実施できなくなりました。

そのため、中牟田小では「9月6日」に平和学習を実施することにしております。

8月6日と9日は、ぜひともご家庭で「平和」について話題にいただければ幸いです。